

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
①安全な避難行動のための取組									資料3
○水害リスクに関する情報提供等の充実									
・想定最大規模の降雨による水害リスクの公表(洪水浸水想定区域図等)	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域などの作成・公表。	岩手県	・洪水浸水想定区域指定を行う。	令和4年度から令和7年度まで	鷹生川等6河川の新規指定を実施。	浦浜川等6河川の新規指定を実施。			
・水害リスクや避難に関する情報の住民周知	想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成、ホームページへの掲載他、各戸配布など住民への周知。浸水実績の公表。	岩手県	・市町村へのデータ提供等ハザードマップ作成にあたっての支援を行う。	継続実施	交付金の活用支援を実施。	交付金の活用支援を実施。			
		宮古市	・ハザードマップを作成し全戸配布する。	令和3年度から令和4年度まで	ハザードマップの作成及び全戸配布を行った	転入者への配布等引き続き周知を行う			
		大船渡市	・市ホームページ等を通じて周知	随時	綾里川の洪水浸水想定区域を反映した綾里地区版水害ハザードマップを更新した。	更新した水害ハザードマップを綾里地区全戸に配布			
		久慈市	・想定最大規模降雨に対応したハザードマップを作成し、住民へ周知を図る。	令和4年度から令和7年度まで	・ハザードマップの更新・配布	市内全12箇所において、ハザードマップに関する住民説明会を実施。			
		陸前高田市	・想定最大規模降雨に対応したハザードマップを作成し、対象地区に配布済(令和2年度、令和3年度)。 ・ハザードマップの更新後、市ホームページへの公表を行うとともに、対象地区住民に対し説明会を実施し、住民周知を図る。 ・洪水浸水想定区域が新たに指定された場合は、速やかに改訂版のハザードマップを作成する。	令和4年度から令和7年度まで	・更新したハザードマップを、市ホームページへの公表を行うとともに、対象地区住民に対し配布し、住民周知を図った。	・ハザードマップについて、出前講座等により住民に周知を行う。			
		釜石市	・想定最大規模降雨に対応したハザードマップは作成済(令和3年度にウェブで公開) ・防災講座や市の公式ホームページ等を通じて、随時実施。	継続実施	・ウェブ上にてハザードマップの公開を継続している。 ・小中学校や町内会に赴き、防災講座を実施した。また、市広報紙や市ホームページ等にて周知を実施した。	・総合防災マップを作成し、市内全戸に配布する。			
		住田町	・想定最大規模降雨に対応したハザードマップは、令和3年度中に作成、全戸配布、ホームページにも掲載予定。浸水実績については、毎年公表したい。	ハザードマップについては令和3年度。浸水実績については毎年。	随時実施	継続実施			
		大槌町	・新たな防災マップの作成を行い、住民等へ周知を図る。	令和4年度から以後継続	新たな防災ハザードマップを作成し、各地区において説明会を実施。	自治会単位での防災講座等で、周知を図る。			
		山田町	想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成、ホームページ掲載、全戸配布	継続実施	新たにハザードマップを作成し、全戸配布した。	出前講座などでハザードマップの活用方法を周知する。			
		岩泉町	・ハザードマップ改訂版の作成と各戸配布 ・ホームページによる浸水想定区域の公表	令和6年度 継続実施	新たな想定最大の洪水浸水想定区域のホームページでの公表	新たな想定最大の洪水浸水想定区域のホームページでの公表			
		田野畑村	・総合ハザードマップの改定及び全戸配布、ホームページへの掲載を行い、住民へ水害危険個所の周知を行う。	継続実施	継続実施	普代川水系が指定されたことから住民との意見交換などを行う。			
		普代村	・令和4年度ハザードマップ作成	令和4年度	マップの完成・配布済み	説明会やワークショップの開催			
		野田村	・防災マップの各戸配布、説明会等	令和4年度	防災マップを全戸に配布した。	防災訓練や自主防災組織を通じて住民の防災意識情勢を図る。			
		洋野町	・浸水実績を組み入れたハザードマップの作成(改訂)を行う	令和4年度から令和7年度まで		防災マップの更新			
・「まるごとまちごとハザードマップ」の現地表示の拡大・促進	洪水災害に対応した避難場所、避難経路の設定や、避難誘導看板・洪水痕跡等の表示。								
		宮古市	・海拔表示板を市内の電柱等95箇所に設置する。	令和3年度	・海拔表示板95箇所設置済、適切に維持管理を行った ・ハザードマップに掲載し、「防災の見える化」を進めた	適切に維持管理を行う			
		大船渡市	・今後検討	令和7年度まで	—	今後検討			
		久慈市	・避難場所標識の更新を進めつつ、有効性や設置箇所の検討を行う。	令和4年度から令和7年度まで	・破損した標識などを更新	・随時、更新を進めつつ、有効性や設置箇所の検討を行う。			
		陸前高田市	・現在設置している看板や標識などの公表内容について、定期的に見直しを行う。また、今後、新たな看板や標識などの設置に向け、引き続き検討を行う。	令和4年度から令和7年度まで	・現在設置している看板や標識などの公表内容について、定期的に見直しを行った。	・現在設置している看板や標識などの内容について、出前講座等により住民に周知を行う。			
		釜石市	・ウェブ版ハザードマップで過去に発生した水害情報を公開済み。 ・標識については、今後検討する。	令和7年度まで	・避難場所等の見直しを実施し、それに合わせウェブ版ハザードマップを更新し、公開した。	・標識の設置について今後検討する。			
		住田町	・今後検討	令和7年度まで	無	継続検討			
		大槌町	・防災マップの作成に向け避難場所等の見直しを行い、併せて誘導看板の設置に向けた準備を進める。	令和5年度まで	防災ハザードマップの作成に伴う避難場所等の見直しの実施。	指定緊急避難場所の看板設置及び避難誘導看板の設置。			
		山田町	・避難所誘導標識、避難所表示標識の更新。浸水深標識は設置を検討。	令和7年度まで	ワークショップを開催し、避難場所等の設定などについて町民と意見交換を行った。	新たに建設した施設(指定避難所)への避難誘導標識、避難所表示看板の設置			
		岩泉町	・避難所標識の設置	令和4年度	新たな想定最大の洪水浸水想定区域指定に合わせた避難所等再確認	平成28年台風第10号災害浸水高設置箇所情報整理。複合災害リスク整理			
		田野畑村	・現在設置してある避難所及び避難場所の誘導標識等を含め、今後検討を行う。	継続実施	(令和4年3月に普代川上流が区域指定)	普代川(上流)の検討を行う。			
		普代村	・避難場所の変更に合わせて表示板の設置	継続実施	継続実施				
		野田村	・新型コロナウイルス感染症に留意した避難所運営に係る訓練を実施	継続実施	新型コロナウイルス感染症に留意した防災訓練を実施した。	継続して実施予定			
		洋野町	・避難所等の見直しや避難経路等の設定を行い、併せて避難看板の設置を行う。	令和4年度から令和7年度まで	土砂災害警戒看板更新の検討	土砂災害警戒看板の更新。避難所の見直し			

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考		
・水位周知河川の指定拡大	水害危険性(水位周知河川)の周知及び情報共有。	岩手県	・県:11河川(当圏域は8河川)	令和4年度から令和7年度まで	2河川(浦浜川、閉伊川)	2河川(久慈川、大野川)					
		岩手県	・県:5河川(当圏域は2河川)	令和4年度から令和7年度まで	3河川(当圏域は宇部川1河川)	1河川(小本川)					
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備の強化	水位計を設置を実施。(水位計、危機管理型水位計・河川監視用カメラ等の適切な維持管理。)	岩手県	・県:5河川(当圏域は2河川)	令和4年度から令和7年度まで	3河川(当圏域は宇部川1河川)	1河川(小本川)					
		岩手県	・県:5河川(当圏域は2河川)	令和4年度から令和7年度まで	3河川(当圏域は宇部川1河川)	1河川(小本川)					
・住民への情報伝達体制の充実	防災行政無線戸別受信機・防災ラジオの配布等住民への情報伝達体制の充実を実施。	宮古市	・従来の戸別受信機に加え、聴覚障がい者に文字表示機付き戸別受信機を貸与する。 ・希望者に対し戸別受信機を無償貸与 ・情報伝達手段の多重化	令和3年度から令和4年度まで	R3までに希望者へ貸与済	希望があれば貸与を増やす					
		大船渡市	・防災行政無線難聴世帯への戸別受信機の整備、久慈市防災メールマガジン、SNS登録の推進	随時	申請者への戸別受信機の貸与及び障害対応等。	申請者への戸別受信機の貸与及び障害対応等。					
		久慈市	・防災行政無線難聴世帯への戸別受信機の整備、久慈市防災メールマガジン、SNS登録の推進	継続実施	・難聴世帯へ随時、整備しているほか、防災メールマガジンの配信実施	継続実施					
		陸前高田市	・防災行政無線の機器の更新を行い、SNS等各種情報伝達手段との自動連携の実施など、防災行政無線の機能強化を図る。 ・住民からの申請に基づき、防災行政無線戸別受信機の貸与を行う。	令和4年度から令和7年度まで	・防災行政無線の機器機能強化の更新として、SNS等各種情報伝達手段との自動連携を可能とした。 ・住民からの申請に基づき、防災行政無線戸別受信機の貸与を実施した。	・防災行政無線から、SNS等各種情報伝達手段との自動連携を継続する。 ・住民からの申請に基づき、防災行政無線戸別受信機の貸与を行う。					
		釜石市	・要配慮者世帯や難聴地域に防災行政無線の戸別受信機を無償貸与。 ・「いわてモバイルメール」の登録推進	継続実施	・要配慮者世帯や難聴地域に防災行政無線の戸別受信機を無償貸与。	・要配慮者世帯や難聴地域に防災行政無線の戸別受信機を無償貸与。					
		住田町	・防災行政無線中継局、再送信局、屋外子局の更新	令和5年度から令和6年度まで	無	更新予定なし					
		大槌町	・希望者への防災ラジオの貸与を継続するほか、Yahoo!防災アプリやLINE等を活用し、情報伝達体制の充実を図る。	継続実施	防災行政無線更新工事の基本設計の実施。	防災行政無線更新工事の実施。(令和7年度まで)					
		山田町	・防災行政無線個別受信機の配布。情報発信の多層化への検討。	令和7年度まで	土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域内に居住する高齢者世帯に戸別受信機を設置した。	携帯電話網を活用した災害情報配信基盤を構築し、エリアメールやSNSなどへの情報発信を一元化するシステムを導入する。					
		岩泉町	・防災連携システム改修による一括配信情報の充実 ・市町村向け災害情報共有システムの共同開発	令和4年度から令和7年度まで	国立研究開発法人土木研究所(ICHARM)との協定に基づく共同研究の継続	・防災連携システム改修による一括配信情報の充実 ・災害情報共有システム共同開発計画					
		田野畑村	・防災行政無線及び個別受信機を活用し、情報伝達体制を強化し情報提供の充実を図る。 ・令和2年度に導入したアプリによる災害時の周知強化を図る(継続対応)	継続実施	継続実施	防災行政無線以外の伝達方法を検討する。					
		普代村	・令和2年度に導入したアプリによる災害時の周知強化を図る(継続対応)	継続実施	継続実施						
		野田村	・難聴区域への個別受信機を貸与	継続実施	難聴区域への個別受信機を貸与した。	継続で実施予定					
		洋野町	・防災行政無線戸別受信機の配布等により、難聴地域の改善を行い、情報伝達体制を充実させる。	継続実施	難聴区域の世帯に個別受信機を貸与	難聴区域の世帯に個別受信機を貸与。防災無線とSNS等の自動連携等、情報伝達手段の機能強化。					
		・ホットラインの構築	出水期前に迅速かつ的確な防災体制が図られるよう、直接、情報提供できる体制の確認	盛岡地方気象台	・円滑なホットライン実施のために、気象台長が首長を訪問し連絡先の確認等を行う。 ・防災担当者向けのホットライン実施のために、気象台の職員が訪問し確認等を行う。	毎年(出水期前)	気象台長は首長を訪問し、ホットライン連絡先の確認を実施した。 同様に、防災担当者向けのホットライン連絡先を確認した。	気象台長は首長を訪問し、ホットライン連絡先の確認を実施した。 引き続き、適時的確にホットラインを実施するための取組を行う。			
				岩手県	・毎年出水期前にホットラインの体制について市町村を共有を行う。	毎年(出水期前)	ホットライン体制を確認	ホットライン体制を確認			
				宮古市	・体制の確認	毎年(出水期前)	体制の確認	体制の確認			
				大船渡市	・毎年度内容を更新	毎年(出水期前)	道路管理者やダム管理者等とホットラインを構築し、災害情報等を共有。	道路管理者やダム管理者等とホットラインを構築し、災害情報等を共有。			
久慈市	・毎年度、当初に確認を行う。			毎年(出水期前)	年度当初において、実施済み	継続実施					
陸前高田市	・毎年度当初に連絡体制の確認を行い、出水期前までに関係機関、関係部署等との顔の見える関係の構築を行う。			毎年(出水期前)	・年度当初に連絡体制の確認を行い、出水期前までに関係機関、関係部署等との顔の見える関係を構築した。	・年度当初に連絡体制の確認を行い、出水期前までに関係機関、関係部署等との顔の見える関係の構築を行う。					
釜石市	・毎年確認			毎年(出水期前)	・河川管理者等とホットラインを確認した。	・河川管理者等とのホットラインの確認。					
住田町	・河川管理者等とのホットラインを構築。			毎年(出水期前)	随時実施	継続実施					
大槌町	・水位周知河川において、河川管理者と市町村長によるホットラインを構築し、水防体制の強化を図る。			継続実施	水位周知河川において、河川管理者と町長ほか幹部職員によるホットラインを構築し、水防体制の強化を図った。	水位周知河川において、河川管理者と町長ほか幹部職員によるホットラインを構築し、水防体制の強化を図る。					
山田町	・毎年確認			毎年(出水期前)	体制の確認。	体制の確認。					
岩泉町	・岩手県及び盛岡地方気象台との送受信多重化によるホットラインの構築			令和4年度から令和7年度まで	ホットラインの運用継続	ホットラインの運用継続					
田野畑村	出水期前に岩手県、盛岡気象台等とのホットラインの確認			毎年(出水期前)	岩手県、盛岡気象台とホットラインを構築	出水期前に、岩手県、盛岡気象台とホットラインを構築する。					
普代村	・各機関への連絡先の確認			毎年(出水期前)	継続実施						
野田村	・河川管理者等とのホットラインの継続			継続実施	河川管理者等とのホットラインの確認を行った。	継続で実施予定					
洋野町	・関係機関と顔の見える関係を構築し、迅速な防災体制が図られるよう努める			継続実施	気象台、河川管理者等とのホットラインを継続	気象台、河川管理者等とのホットラインを継続					

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考		
○住民自らが避難行動を行うために必要な情報提供の充実											
・洪水に関する各種情報(水位情報、避難情報等)の発信、避難指示に係る住民への理解促進	各構成員において水位情報、避難情報等に関する各種情報を発信。	盛岡地方気象台	・防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会で説明	継続実施	防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会を実施した。	引き続き、防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会で説明を行う。					
		岩手県	・いわてモバイルメール等を使用してのさらなる情報発信について検討する。	令和7年度まで	LINE及びTwitterで水位情報の発信を開始。	いわてモバイルメール等の普及活動を実施。					
		宮古市	・出前講座を行う。	継続実施	出前講座を行った(80団体)	出前講座を行う					
		大船渡市	・多様な伝達手段を活用し、災害情報等を発信 ・市ホームページ、広報等を活用した防災・減災に関する住民啓発	随時	市ホームページ、広報紙等を活用し、災害への備えを水害ハザードマップ等で確認するよう周知。	市ホームページ、広報紙等を活用し、災害への備えを水害ハザードマップ等で確認するよう周知。					
		久慈市	・HP、SNS等を活用し、各種情報を発信する。 住民に対し、県河川情報HP等情報収集方法を周知する。	継続実施	・防災メールマガジン配信のほか、ハザードマップに防災関連情報の入手先を掲載	継続実施					
		陸前高田市	・防災行政無線、登録制メール、SNS(ツイッター、フェイスブック、市ホームページ)等を活用した情報発信を行う。	令和4年度から令和7年度まで	・防災行政無線から、SNS等各種情報伝達手段との自動連携により、登録制メール、SNS(ツイッター、フェイスブック、LINE、市ホームページ)等を活用した情報発信が可能となるよう親機を更新した。	・民間事業者と河川水位予測システムの検証実験を実施する。					
		釜石市	・エリアメール、いわてモバイルメール、防災アプリによる情報発信	随時	・エリアメール、いわてモバイルメール、防災アプリによる情報発信を	・エリアメール、いわてモバイルメールによる情報発信。					
		住田町	・防災行政無線、ケーブルテレビ、ホームページ等により周知。	随時	随時実施	継続実施					
		大槌町	・防災行政無線、いわてモバイルメール、LINE及びYahoo!防災アプリ等を活用し、各種情報を発信する。	継続実施	防災行政無線、いわてモバイルメール、LINE及びYahoo!防災アプリ等を活用し、各種情報を発信した。	防災行政無線、いわてモバイルメール、LINE及びYahoo!防災アプリ等を活用し、各種情報を発信する。					
		山田町	・町HPやSNSを活用し、各種情報を発信。	随時	やまた防災だよりや町HPにて各種情報を発信。	町HPやSNS、広報紙を通じて、各種情報を発信。					
		岩泉町	・防災連携システム改修による一括配信情報の充実 ・市町村向け災害情報共有システムの共同開発	令和4年度から令和7年度まで	国立研究開発法人土木研究所(ICCHARM)との協定に基づく共同研究の継続	・防災連携システム改修による一括配信情報の充実 ・災害情報共有システム共同開発計画					
		田野畑村	地域住民に対し、洪水等に関する情報、避難指示等の避難情報をメール、防災行政無線を活用し的確に発信する。	継続実施	継続実施	継続実施					
		普代村	・防災行政無線やアプリを活用し、各種情報を発信する。	継続実施	継続実施						
		野田村	・防災マップ(ハザードマップ)の各戸配布、自主防災組織勉強会	令和7年度まで	新型コロナウイルス感染症により勉強会の開催は出来なかった。	防災訓練を通じた自主防災組織の勉強会や出前講座を検討中					
		洋野町	・水位情報や避難情報をリアルタイムで発信できる体制を構築する。	令和4年度から令和7年度まで		洪水浸水想定区域の防災マップへの表示					
		・近年の局地化・集中化・激甚化する雨の降り方に対応した防災気象情報の提供	近年の局地化・集中化・激甚化する降雨に対応した防災気象情報を発信。	盛岡地方気象台	・適時的確な防災気象情報の発表に努める。	継続実施	気象警報・注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時	引き続き、適時的確な防災気象情報の発表に努める。			
		②地域防災力を維持・継続・強化するための取組									
○PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携											
・水害対応「タイムライン」の改善や見直し	実洪水及び洪水演習、各種訓練を踏まえた水害対応タイムラインの確認、見直しを実施。	盛岡地方気象台	・タイムラインの見直しに協力。	継続実施	タイムラインの見直しに協力した。	引き続き、タイムラインの見直しに協力する。					
		岩手県	・洪水演習等を踏まえ順次タイムラインの見直しを行う。	継続実施	基準水位の変更に合わせて見直しを実施。	基準水位の変更に合わせて見直しを実施。					
		宮古市	・見直しを実施	継続実施	見直しを実施	現況に合わせて随時見直しを実施					
		大船渡市	・タイムラインの確認、見直し	随時	—	—					
		久慈市	・タイムラインの確認、見直しを実施。	継続実施	タイムラインの確認、見直し	継続実施					
		陸前高田市	・策定したタイムラインの確実な運用に努め、必要に応じた水害対応タイムラインの見直しや修正を行う。	継続実施	・策定したタイムラインの確実な運用に努め、必要に応じた水害対応タイムラインの見直しや修正を行った。	・水防団において気仙川、矢作川等の洪水による被害を未然に防止する水防活動訓練を行い、必要に応じて水害対応の見直しを行う。					
		釜石市	・タイムラインの確認、見直し	随時	・タイムラインの確認を行った。	・タイムラインの確認、見直し。					
		住田町	・各種訓練等を踏まえタイムラインを確認し、必要に応じて見直しを実施する。	継続実施	随時実施	継続実施					
		大槌町	・水害に係る課題やリスク等を抽出しタイムラインの見直しを図る。	継続実施	水害に係る課題やリスク等を抽出しタイムラインの見直しを図った。	タイムラインを基にした訓練の実施					
		山田町	・タイムラインの確認、見直し。	随時	本部支援室訓練を踏まえて、タイムラインを確認。	タイムラインの確認、見直し。					
		岩泉町	・要配慮者利用施設等も含めたタイムラインの見直し	継続実施	要配慮者利用施設避難確保計画随時見直し	要配慮者利用施設避難確保計画随時見直し					
		田野畑村	・タイムラインの確認、見直し	継続実施	継続実施	継続実施					
		普代村	・ハザードマップ作成と併せて、タイムラインの見直しを行う	継続実施	継続実施						
		野田村	・必要に応じてタイムラインの見直し	継続実施	見直しはしていない	必要に応じて対応					
		洋野町	・各種訓練を踏まえた水害対応タイムラインの策定に努める。	令和4年度から令和7年度まで		作成検討					

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考	
・県管理河川における水害対応「タイムライン」の作成	(県)県管理河川の洪水対応「タイムライン」を作成(市町)水位周知河川の沿川自治体は河川毎に水害対応「タイムライン」の作成	盛岡地方気象台	・新規で水位周知河川に指定した河川について、タイムラインの作成の支援を行う。	継続実施	タイムライン作成に協力した。	引き続き、タイムラインの作成に協力する。				
		岩手県	・新規で水位周知河川に指定した河川について、タイムラインの作成の支援を行う。	継続実施	浦浜川、閉伊川のタイムライン作成支援を実施。	久慈川、大野川のタイムライン作成支援を実施。				
		宮古市	・本格運用しながら、各基準値の適性を監視。	継続実施	各基準値の適性監視を行った	各基準値の適性を監視				
		大船渡市	・タイムラインの作成、運用	継続実施						
		久慈市	・タイムラインの作成、運用、見直しを実施。	継続実施	タイムラインの確認、見直し	継続実施				
		岩泉町	・河川改修工事の進捗状況に合わせたタイムラインの見直し	継続実施	基準水位の見直し協議、変更	タイムラインの見直し、運用基準水位の見直し協議、変更				
		田野畑村	・タイムラインの作成及び運用	継続実施	タイムライン作成、運用確認	継続実施				
		洋野町	・タイムラインを作成を行う。	令和4年度から令和7年度まで			作成検討			
		・住民参加型の実践的な訓練の実施	・自主防災組織、福祉関係者、水防団、水防協力団体等による「避難時の声掛け」や「避難誘導」を含む訓練の実施など ・自治体の避難情報、河川等の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練や避難場所への移動訓練、避難所開設等の実施など	盛岡地方気象台	・自治体が予定する河川やダム等の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練へ支援を実施	継続実施	コロナ過で避難訓練等が無かった。	引き続き、避難訓練への支援を実施する。		
岩手県	・自治体が予定する河川やダム等の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練へ支援を実施			継続実施	洪水対応演習等で関係機関と連携し訓練を実施。	洪水対応演習等で関係機関と連携し訓練を実施。				
宮古市	・総合防災訓練において避難訓練を実施。			継続実施	総合防災訓練、津波避難訓練を実施	総合防災訓練、津波避難訓練を実施				
大船渡市	・防災訓練の実施			随時	岩手県総合防災訓練を実施。	地域住民、関係機関、自主防災組織等と連携し、地震・津波を想定した防災訓練を実施。				
久慈市	・自主防災組織等が実施する訓練への支援を行う。			継続実施	活動支援として補助金や研修会を実施	継続実施				
陸前高田市	・自主防災組織や地区が開催する避難訓練の支援を行う。			継続実施	・自主防災組織や地区が開催する避難訓練の支援を行った。	・自主防災組織や地区が開催する避難訓練の支援を行う。				
釜石市	・市が設置している地域会議ごとに、防災訓練に取り組む。 ・自主防災組織単位で行っている訓練にも継続的に参加する。			随時	・町内会、自主防災組織が行う避難訓練、避難所開設訓練などを支援した。	町内会、自主防災組織が行う避難訓練、避難所開設訓練などへの継続支援。				
住田町	・自主防災組織、福祉関係者、水防団等による「避難時の声掛け」や「避難誘導」を含む訓練の実施			継続実施	地域住民、消防団、関係機関等と連携して岩手県総合防災訓練に参加	必要に応じて実施				
大槌町	・自治会や要配慮者利用施設などを中心に訓練の充実を図る。			令和4年度から以後継続	自治会や要配慮者利用施設などによる訓練の実施。	町職員と地域住民との共同による避難所開設訓練の実施。				
山田町	・自治体が予定する河川やダム等の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練へ支援を実施			継続実施	総合防災訓練において住民の避難訓練を実施。	総合防災訓練や自主防災組織主催の避難訓練等において、防災情報を活用した実践的な訓練を実施する。				
岩泉町	・地区自主防災協議会連携会議を通じた年間訓練計画の作成に基づく確実な訓練実施			継続実施	・地区自主防災協議会連携会議開催	・地区自主防災協議会連携会議開催				
田野畑村	・総合防災訓練を開催し、自主防災組織、福祉関係者、水防団等の実践的な訓練を実施する。 ・令和4年度に水害を想定した訓練を実施するため、住民への周知を図る。			継続実施	継続実施	継続実施				
普代村	・令和4年度に水害を想定した訓練を実施するため、住民への周知を図る。			継続実施	津波避難訓練を実施	現在津波・洪水いずれの訓練を行うか検討中				
野田村	・自主防災組織勉強会			継続実施	新型コロナウイルス感染症により勉強会の開催は出来なかった。	防災訓練を通じた自主防災組織の勉強会や出前講座を検討中				
洋野町	・水防団や自主防災組織と一般町民が連携し、実態に即した避難訓練を実施する。			令和4年度から令和7年度まで		防災訓練の実施				
・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成及び訓練の実施・促進	・地域防災計画に定められた要配慮者利用施設における「避難確保計画の作成」及び「避難訓練」の促進 ・避難確保計画の作成、避難訓練の促進に向け「講習会プロジェクト」の取組を拡大 ・洪水浸水想定区域内の施設を地域防災計画に位置づけ、計画策定や訓練に対して助言を実施。	盛岡地方気象台	・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成及び訓練に協力する。	継続実施	久慈市で開催された「避難確保計画作成WS」に協力した	引き続き、要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成及び訓練に協力する。				
		岩手県	・関係部局と調整を行い、通知や講習会等を実施する。	継続実施	要配慮者利用施設の管理者向け講習会を実施し、避難確保計画の策定を促進した。	計画策定、避難訓練の実施に向け、通知や講習会等を実施する。				
		宮古市	・訓練実施の啓発通知。	継続実施	訓練実施の啓発通知を行った	訓練実施の啓発通知				
		大船渡市	・避難確保計画の作成・見直し及び避難訓練の実施支援	令和7年度まで	—	避難確保計画作成及び避難訓練実施の支援を行う。				
		久慈市	・避難確保計画の作成支援を行う。	継続実施	・関係機関と連携して研修会を実施。	継続実施				
		陸前高田市	・令和3年度中に避難確保計画の策定率100%を達成した。 ・今後は、策定していただいた避難確保計画の実効性確保を図るため、各施設の避難確保計画の内容や避難訓練に対して助言を行うなど、引き続き支援していく。	継続実施	・各施設の避難確保計画の内容や避難訓練に対して助言を行った。	避難確保計画の実効性確保を図るため、各施設の避難確保計画の内容や避難訓練に対して助言を行うなど、支援を継続する。				
		釜石市	・保健福祉部局と連携し、通知文や出前講座などを通じて実施。	継続実施	・保健福祉部局と連携し、通知文や出前講座などを通じて実施した。	保健福祉部局と連携し、通知文や出前講座などを通じて実施。				
		住田町	・関係部署と調整を行い、避難訓練等を促進する。	継続実施	随時実施	継続実施				
		大槌町	・避難確保計画の内容を踏まえ、各施設への訓練の促進を図る。	継続実施	避難確保計画の内容を踏まえ、各施設への訓練の促進を図った。	避難確保計画の内容の再確認を行い、必要な修正の実施と訓練促進を図る。				
		山田町	・訓練実施の啓発通知。避難確保計画の作成支援。	継続実施	訓練実施の啓発。	訓練実施の啓発。避難確保計画の作成支援。				
		岩泉町	・要配慮者利用施設避難確保訓練実施要領に基づく各機関連携した訓練の確実な実施と計画の見直し	継続実施	新型コロナウイルス感染症対策を講じたがからの訓練の実施	・出水期前の訓練実施依頼通知 ・事前通知と事後報告書による確実な訓練実施				

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
・隣接市町村との情報共有・連携(広域避難体制等)	・水害リスクと地域特性を踏まえた当該市町の避難所だけで避難者を収容できるか確認 ・緊急な避難場所の必要性の検討 ・広域避難を考慮した場合は、隣接した市町等における避難場所、連絡体制等の検討・調整	田野畑村	・避難訓練の啓発促進	継続実施	継続実施	令和4年3月に普代川(上流)が洪水浸水想定区域に指定されたことから、高齢者施設に対し避難確保計画の策定及び避難訓練の実施を促進			
		普代村	・避難確保計画作成及び避難訓練の援助	継続実施	継続実施				
		野田村	・避難確保計画作成及び避難訓練の援助	継続実施	避難確保計画の作成援助を行った。	継続して避難確保計画作成及び避難訓練の援助を行う。			
		洋野町	・県警部署と連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定や避難訓練の実施を行う。 ・洪水浸水想定区域の施設を地域防災計画に位置付け、計画策定等を行う。	令和4年度から令和7年度まで	全対象施設が計画策定済	地域防災計画に対象施設を記載			
		宮古市	・広域管内で定期的な情報交換を実施。	継続実施	広域管内で定期的な情報交換を実施した	広域管内で定期的な情報交換を実施			
		大船渡市	・今後検討	令和7年度まで	—	近隣市町村と必要に応じて情報交換を行う。			
		久慈市	・広域避難の必要性、近隣市町村との連携について、検討を行う。	継続実施	・市町村間の協定に基づく備蓄物資等状況の共有	継続実施			
		陸前高田市	・近隣市町村などと連携し、定期的な情報共有を行う。	継続実施	・近隣市町等と連携し、定期的な情報共有を行った。	・近隣市町村等と連携し、定期的な情報共有を行う。			
		釜石市	・広域避難場所の確保に向け、引き続き近隣市町村と調整。	令和7年度まで	・広域避難場所の確保に向け、近隣市町村等と調整を実施した。	・広域避難場所の確保に向け、引き続き近隣市町村と調整。			
		住田町	・隣接市町村で定期的な情報交換を実施。	継続実施	随時実施	継続実施			
		大槌町	・広域避難場所の確保に向け、近隣市町村と協議を図る。	継続実施	広域避難場所の確保に向け、近隣市町村と協議を図った。	広域避難場所の実運用に向けた、近隣市町村と協議を図る。			
		山田町	・定期的な情報交換を実施。	継続実施	近隣市町村と情報交換を実施。	定期的な情報交換を実施。			
		岩泉町	・地域防災計画に基づく広域避難計画の策定に向けた隣接市町村との検討・調整	令和4年度から令和7年度まで	田野畑村境における避難場所の確認	広域管内との情報交換			
		田野畑村	・広域管内で定期的な情報交換を実施	継続実施	継続実施	継続実施			
普代村	・広域管内で定期的な情報交換を実施	継続実施	継続実施	継続実施					
野田村	・情報伝達訓練や継続した連携を図る	継続実施	管内市町村で情報伝達訓練を実施した。	継続して実施予定					
洋野町	・平時から洪水浸水区域の避難者数の把握に努め、併せて避難所の収容率を算定する。	令和4年度から令和7年度まで	市町村間の協定に基づく応援体制の継続	市町村間の協定に基づく応援体制の継続					
○正しい知識の周知・定着									
・自主防災組織や地域住民を対象とした、水害リスクや防災に関する知識の普及(説明会、出前講座の実施等)	自主防災組織や地域住民へハザードマップ説明会、出前講座、水防訓練等の実施などによる知識普及活動を実施。	盛岡地方気象台	・気象防災ワークショップの実施。 ・研修会等での講演	継続実施	岩手県と協力して気象防災ワークショップを実施した。	引き続き、気象防災ワークショップを実施する。			
		岩手県	・浸水想定説明会等において、水害リスクについての説明を行う。	継続実施	浸水想定説明会等において、水害リスクについて説明。	浸水想定説明会等において、水害リスクについて説明。			
		宮古市	・自主防災組織や地域住民を対象とした水害リスクや防災に関する知識普及のため、出前講座を実施。 ・「1町内会、1防災士」を目標に防災士養成講座を開催。	継続実施	出前講座及び防災士養成講座を実施	・出前講座及び防災士養成講座を実施 ・マイタイムラインの啓発			
		大船渡市	・出前講座等の実施 ・防災訓練への参加を呼びかけ	随時	自主防災組織への防災訓練への参加呼びかけを行った。	自主防災組織への出前講座等実施の周知、防災訓練への参加の呼びかけ			
		久慈市	・自主防災組織を対象とした研修会、市民を対象とした防災講演会、出前講座の実施	継続実施	・自主防災組織を対象とした研修会、市民を対象とした防災士養成講座の実施	継続実施			
		陸前高田市	・地域における防災リーダーとして活躍できる人材を養成するため、防災マイスター養成講座を実施する。 ・地域住民を対象とした災害リスクや防災に関する知識普及のため、出前講座を実施する。	継続実施	・地域における防災リーダーの育成とともに、各地区自主防災組織の活性化を図ることを目的として、自主防災組織リーダー研修会を開催(参加者136名)。 ・地域における防災リーダーとして活躍できる人材を養成するため、防災マイスター養成講座を実施(受講者22名)。 ・地域住民を対象とした災害リスクや防災に関する知識普及のため、出前講座を実施した(5回)。	・地域における防災リーダーとして活躍できる人材を養成するため、防災マイスター養成講座を実施する。 ・地域住民を対象とした災害リスクや防災に関する知識普及のため、出前講座を実施する。			
		釜石市	・防災訓練や出前講座などを通じて、随時実施。	継続実施	・防災訓練や出前講座を実施した。 ・町内会を対象としたウェブ版ハザードマップの説明会を開催した。	・防災訓練や出前講座などを通じて、随時実施。			
		住田町	・ハザードマップ説明会や出前講座を実施。	継続実施	自主防災組織の育成強化に向け研修会を開催	継続実施			
		大槌町	・防災マップの作成後、住民説明会や出前講座の機会を設け、啓発に取り組む。	令和4年度から以後継続	新たな防災ハザードマップを作成し、各地区において説明会を実施。	自治会単位での防災講座等を実施し、啓発を図る。			
		山田町	・地域における水害リスク等に関する出前講座の実施。	継続実施	地域住民へ出前講座を実施。	自主防災組織や地域住民において出前講座を実施。			
		岩泉町	・岩泉町まなびの出前講座による岩泉土木センター及び盛岡地方気象台と連携した知識普及活動の実施	継続実施	岩泉土木センターと連携した出前講座の実施	安心安全まちづくり総合講座のメニュー追加 関係機関協働の出前講座の実施			

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
・教育関係者と連携した、児童・生徒等を対象とした防災に関する知識取得の強化(出前授業の実施等)	教育関係者と連携した防災・河川環境教育の実施	田野畑村	・総合防災訓練を通し、自主防災組織、自治会等へ水防に対する知識普及啓発を図る。	継続実施	継続実施	令和4年3月に普代川(上流)が洪水浸水想定区域に指定されたことから、洪水ハザードマップの作成検討、チラシ配布若しくは懇談会等を開催し住民へ周知			
		普代村	・ハザードマップが完成した後に、村内各地区で水害の浸水想定に関する説明会を実施する予定である	継続実施	継続実施	継続実施			
		野田村	・自主防災組織勉強会	令和7年度まで	新型コロナウイルス感染症により勉強会の開催は出来なかった。	防災訓練を通じた自主防災組織の勉強会や出前講座を検討中			
		洋野町	・自主防災組織や消防団、地域住民へ対し、水害リスクの説明及びハザードマップの説明を行う。	令和4年度から令和7年度まで		自主防災組織連絡協議会の開催			
		盛岡地方気象台	・気象防災ワークショップの実施。 ・研修会等での講演	継続実施	岩手県と協力して気象防災ワークショップを実施した。	引き続き、気象防災ワークショップを実施する。			
		岩手県	・出前講座等の実施 ・児童・生徒等を対象としたダム見学会の実施	継続実施	盛岡地方気象台と連携した気象防災ワークショップの実施による市町村職員の災害対応力の向上を図った。	国と連携した取組の推進及び出前講座等の実施			
		宮古市	・児童・生徒を対象とした水害リスクや防災に関する知識普及のため、出前講座を実施。	継続実施	出前講座を実施	出前講座を実施			
		大船渡市	・市内小中学校で実施する防災学習への協力 ・防災学習館の活用を呼びかけ	随時	市内小中学校からの依頼により防災学習出前講座を行った。	市内小中学校に対し、防災学習・津波伝承施設等の施設活用プランを提案。 防災学習ツアーの実施。			
		久慈市	・出前講座等の実施	継続実施	・市防災センターでの防災授業実施 ・小中学校における出前講座の実施(4回)。	継続実施			
		陸前高田市	・小中学校における出前講座の実施。	継続実施	・市防災センターでの防災授業実施 ・市内各学校において防災学習を実施した。	継続実施			
		釜石市	・市内各学校への防災学習の実施	継続実施	無	継続実施			
		住田町	・町内小中学校と連携して防災学習を実施する。	継続実施	無	継続実施			
		大槌町	・防災教育を通じ、児童・生徒への防災知識の教養を図る。	継続実施	防災教育を通じ、児童・生徒への防災知識の教養を図った。	防災教育を通じ、児童・生徒への防災知識の教養を図る。			
		山田町	・小中学校における出前講座の実施。	継続実施	町内小学校において出前講座を実施。	出前講座の実施。			
岩泉町	・岩泉町まなびの出前講座による岩泉土木センター及び盛岡地方気象台と連携した知識普及活動の実施	継続実施	岩泉土木センターと連携した出前講座の実施 学校企画による防災学習の実施	依頼企画による出前講座の実施 学校企画型による防災学習の実施					
田野畑村	・教育関係者と連携し、児童・生徒及びPTAを対象とした、防災に対する知識普及活動を実施する。	継続実施		講師(防災アドバイザー)を派遣し、中学生を対象に防災研修会を実施					
普代村	・村内各学校への防災学習の実施	継続実施		継続実施					
野田村	・出前講座等の実施	継続実施		講師として学校へ防災官を派遣した。	継続して実施予定				
洋野町	・町内小中高の学校へ出前講座を実施する。	令和4年度から令和7年度まで		種市高校での防災授業実施	町内小中高の学校へ出前講座				
③ 人命と財産を守るための取組									
・水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所の確実な伝達	重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動関係者との共同点検を実施。	岩手県	・水防計画書及び重要水防箇所図の見直しを検討し、わかりやすい情報発信に努める。 ・市町、消防団と合同で水門等の点検を実施。	継続実施	水防計画書及び重要水防箇所図の見直しを実施。	水防計画書及び重要水防箇所図の見直しを実施。			
		宮古市	・各施設管理者及び地元消防団と合同で、年3回の定期的な河川・海岸水門等水防施設の点検及び動作確認の実施 ・市ホームページなどにより、水防情報や危険箇所等を発信 ・水防訓練の実施	継続実施	岩手県、宮古市、消防団の合同で3回の水ひ門点検を実施した。	年間3回の水ひ門点検を実施する。			
		大船渡市	・水防団と情報共有を進める。	随時	定期的な河川・海岸水門の点検及び操作確認の実施。	定期的な河川・海岸水門の点検及び操作確認の実施。			
		久慈市	・水防団と連携し、重要水防箇所を中心に定期的な巡視を実施する。 ・定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施。	継続実施	定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施。	継続実施			
		陸前高田市	・重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動関係者との共同点検を実施。	随時	定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施。	定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施。			
		釜石市	・水防団と情報共有を進める。	継続実施	随時実施	継続実施			
		住田町	・定期的な河川水門の点検を実施。	継続実施	水防団と連携し、年3回の定期的な河川・海岸水門等水防施設の点検及び動作確認を行った。	水防団と連携し、年3回の定期的な河川・海岸水門等水防施設の点検及び動作確認の実施。			
		大槌町	・定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施。	継続実施	定期的な河川水門の点検を実施。	定期的な河川水門の点検を実施。			
		山田町	・重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動関係者との共同点検を実施した。	随時	・重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者や水防活動関係者等との共同点検を実施。	・重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者や水防活動関係者等との共同点検を実施。			
		岩泉町	・水防計画書、重要水防箇所図及び町水防活動非常配備運用計画の共同点検及び巡回活動の実施	継続実施	・水防計画書、重要水防箇所図及び町水防活動非常配備運用計画の配布	水防計画書、重要水防箇所図及び町水防活動非常配備運用計画の共同点検及び巡回活動の実施			
		田野畑村	・水防団及び関係機関と連携し、水防資機材の点検、取り扱い訓練を実施する。	継続実施		継続実施			
		普代村	・防災マップ(ハザードマップ)の各戸配布、公表	令和4年度	完成・配布済み				

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
・水防体制の確保、強化を図る継続的な取組と新たな手法の導入	水防団等の募集・水防協力団体の指定促進、地域の事業者による水防実施体制や広域活動の検討・構築。	野田村	・防災マップの各戸配布、公表	令和4年度	防災マップを各戸配布、公表をした。	継続して実施予定			
		洋野町	・水防計画書及び重要水防箇所図の理解に努める。	継続実施	町、消防団と定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施	町、消防団と定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施			
		宮古市	・宮古市消防団(水防団)の定期的な人員確保(募集)を実施。	継続実施	消防団員募集ポスターを作成、配布した。	引き続き消防団員の募集を行う。			
		大船渡市	・団員の募集	随時	消防団員募集に係る周知や加入に向けた勧誘を行った。	消防団員募集に係る周知や加入に向けた勧誘。			
		久慈市	・水防団員の募集	継続実施	久慈市消防団(水防団)の定期的な人員確保(募集)を実施。	継続実施			
		陸前高田市	・本市水防団は消防団と兼務しているため、消防団員の募集を随時行う。	随時	・本市水防団は消防団と兼務しているため、消防団員の募集を行った。	・本市水防団は消防団と兼務しているため、消防団員の募集を随時行う。			
		釜石市	・水防団(消防団)の確保のため、協力事業所の認定や幼少年消防クラブの取り組みを継続	随時	・水防団(消防団)の確保のため、協力事業所の認定や幼少年消防クラブの取り組みを継続した。	・水防団(消防団)の確保のため、協力事業所の認定や幼少年消防クラブの取り組みを継続。			
		住田町	・消防団(水防団)募集に係る周知や加入に向けた勧誘を行う。	継続実施	随時実施	継続実施			
		大槌町	・防災士養成事業の実施	継続実施	防災士養成事業の実施。	防災士養成事業の実施。			
		山田町	・消防団(水防団)の定期的な人員確保(募集)を実施。	継続実施	消防団員(水防団)の募集。	消防団員(水防団)の募集。			
		岩泉町	・新規消防団員入団促進を図ると共に協力事業所制度を活用した活動への協力体制を構築する	継続実施	町広報等への入団広報掲載協力事業所表彰の実施	町広報等への入団広報掲載協力事業所表彰の実施			
		田野畑村	・通年を通し水防団の募集活動を実施する。また、水防活動を行う上で建設会社との調整を実施する。	継続実施	継続実施	継続実施			
		普代村	・水防団の募集等	継続実施	継続実施	継続実施			
		野田村	・消防団員の定期的な人員確保(募集)を実施	継続実施	消防団員確保のため、消防団による声かけを実施した。	継続して実施予定			
洋野町	・水防団員の高齢化や減少への対策を講じ、水防実施体制の維持に努める。	令和4年度から令和7年度まで	消防団員募集に係る周知や加入に向けた勧誘の実施	消防団員募集に係る周知や加入に向けた勧誘の実施					
・よりの確な人命と財産を守るための情報の積極的な提供	水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直し 広域的、効率的な水防活動ができるよう、協力内容の検討・調整、伝達方法の確認、見直し等	宮古市	・災害対策本部室の適切な維持管理。	継続実施	災害対策本部室の適切な維持管理を行った	災害対策本部室の適切な維持管理			
		大船渡市	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直し	随時	防災訓練において、消防団無線を使用した通信訓練を実施。	関係機関や水位計、カメラなどから得られる情報などにより、住民への的確な情報伝達を実施。			
		久慈市	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直しを検討	継続実施	・連絡網の定期的な更新、確認の実施	継続実施			
		陸前高田市	・水防演習の際、消防団の無線を使用した情報伝達訓練を実施する。	随時	・水防演習の際、消防団の無線を使用した情報伝達訓練を実施した。	・水防演習の際、消防団の無線を使用した情報伝達訓練を実施する。			
		釜石市	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直し	随時	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直しを実施した。	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直し。			
		住田町	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直し	随時	随時実施	継続実施			
		大槌町	・大雨災害のピーク予想時刻より前の注意喚起や避難情報の発令を実施	継続実施	大雨災害のピーク予想時刻より前の注意喚起や避難情報の発令を実施。	大雨災害のピーク予想時刻より前の注意喚起や避難情報の発令を実施。			
		山田町	住民向けに防災情報(気象情報、河川情報等)の入手方法についてやまだ防災だよりを活用して周知。	継続実施	やまだ防災だよりを活用し、気象情報、河川情報等の入手方法を周知。	やまだ防災だよりを活用し、防災情報の取得方法を周知。			
		岩泉町	・町消防団風水害等活動計画に基づく情報伝達と安全確保体制を構築した活動の徹底を図る	継続実施	町消防団風水害等活動計画の確認と幹部会議での情報伝達と基礎行動の確認	・総合防災訓練における活動手順確認と行動実践			
		田野畑村	・水防団等が効果的な活動ができるように、連絡体制、情報伝達方法等の再確認及び調整を行う。	継続実施	継続実施	継続実施			
		普代村	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直しを検討	継続実施	継続実施	継続実施			
		野田村	・関係機関から得られる情報等を住民への的確に情報伝達を行う。	継続実施	防災訓練を通じ消防団と村とで通信訓練を実施	継続して実施予定			
		洋野町	・水防団等への情報発信、情報収集の強化に努める。	令和4年度から令和7年度まで		防災マップ更新に合わせ、住民向け防災情報(気象情報、河川情報等)の入手方法を周知する			
		・関係機関が連携した一体的な実働訓練の実施(水防訓練、操作訓練、排水訓練)	水防訓練などでの水防技術・知識の習得活動を実施。	盛岡地方気象台	・水防訓練等へ協力する。	継続実施	コロナ過で避難訓練等が無かった。	北上川上流総合水防演習の防災展に出展する	
岩手県	・水防訓練等へ協力する。			継続実施	水防合同水防演習で、関係機関と連携し訓練を実施。	水防合同水防演習で、関係機関と連携し訓練を実施。			
宮古市	・市内(海岸)で水防訓練(水ひ門遠隔制御)を実施。			継続実施	訓練を定期的実施した	市内で水防訓練を実施する			
大船渡市	・市防災訓練等における水防訓練の実施			随時	岩手県総合防災訓練において、消防団と連携し、水防訓練を実施。	防災訓練において、消防団と連携し、水防訓練を実施。			
久慈市	・水防訓練等の実施			継続実施	定期的な河川水門の点検及び操作確認の実施。	継続実施			

○取組方針のフォローアップ(詳細版)

取組項目	取組内容	取組機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
		陸前高田市	・気仙川において水防隊を中心に、洪水を想定した水防工法等に関する訓練を実施する。	随時	・気仙川において水防隊を中心に、洪水を想定した水防工法等に関する訓練を実施した。	・気仙川において水防隊を中心に、洪水を想定した水防工法等に関する訓練を実施する。			
		釜石市	・水防訓練の実施	随時	・水防訓練を実施した。	・水防訓練の実施。			
		住田町	・水防訓練等の実施	継続実施	随時実施	継続実施			
		大槌町	・風水害を想定した全町避難訓練の実施	令和4年度から以後継続	風水害を想定した訓練の準備、検討。(台風接近により訓練中止)	風水害を想定した訓練の実施。			
		山田町	・防災関係機関と連携し、総合防災訓練において水防訓練の実施。	継続実施	総合防災訓練において風水害を想定した避難訓練の実施。	総合防災訓練において水防訓練の実施。			
		岩泉町	・町消防団各分団における個別訓練の実施と町総合防災訓練による大規模想定訓練の実施を図る	継続実施	毎月の機械器具点検の実施 コロナ禍で個別訓練総合訓練できず	自らが企画し、訓練を実施 総合訓練への全分団参加			
		田野畑村	・水防団と情報共有及び実践訓練を実施	継続実施	継続実施	総合防災訓練で、水防団と建設会社が連携した実践訓練を行い、水防技術、知識を習得する			
		普代村	・水害を想定した総合防災訓練の実施	継続実施	継続実施	継続実施			
		野田村	・土嚢製作等の水防訓練の実施	令和7年度まで	新型コロナウイルス感染症により実施できなかった。	継続して実施予定			
		洋野町	・水防団による水防訓練の実施に努める。	継続実施		防災訓練の実施			
・関係機関が有する水防資機材の情報共有	関係機関が有する水防資機材の情報共有など								
		岩手県	・水防資機材等の配備・強化の必要性を検討する。	継続実施	水防資機材等配備の過不足を確認。	水防資機材等配備の過不足を確認。			
		宮古市	・岩手県水防計画と宮古市水防計画との整合を図り、情報共有。	継続実施	情報共有を行った	引き続き情報共有を行う			
		大船渡市	・水防資機材の確認及び補充等	随時	—	消防団等関係機関との情報共有。			
		久慈市	・関係機関が有する水防資機材の情報共有、協力体制の構築	継続実施	・市町村間の協定に基づく備蓄物資等状況の共有	継続実施			
		陸前高田市	・関係機関と定期的に水防資機材や水防体制等について情報共有を図る。 ・必要に応じた水防資機材の配備や強化を検討する。	継続実施	・関係機関と定期的に水防資機材や水防体制等について情報共有をした。 ・必要に応じた水防資機材の配備や強化を行った。	・関係機関と定期的に水防資機材や水防体制等について情報共有を図る。 ・必要に応じた水防資機材の配備や強化を検討する。			
		釜石市	・水防団、関係機関との情報共有	随時	・水防団、関係機関と情報共有した。	・水防団、関係機関との情報共有。			
		住田町	・水防団、関係機関との情報共有	随時	随時実施	継続実施			
		大槌町	・関係機関との水防資機材の情報共有を図る	令和4年度から	関係機関との水防資機材の情報共有の実施。	関係機関との水防資機材の情報共有を図る。			
		山田町	・岩手県水防計画による情報共有	着手	水防資機材の確認	水防資機材の確認及び補充等			
		岩泉町	・水防資機材等の配備・強化の必要性を検討する。	継続実施	必要資機材の購入	資機材の棚卸しによる数値数量把握と必要物品の補充と台帳共有			
		田野畑村	・水防活動を行う関係機関の資機材を把握し、情報共有を行う。	継続実施	継続実施	継続実施			
		普代村	・水防機材の補充と確認を行う。	継続実施	継続実施	継続実施			
		野田村	・市町村間の協定に基づく備蓄物資等状況の共有	継続実施	共有を図った。	継続して実施予定			
		洋野町	・水防資機材等の配備、強化の必要性を検討するとともに、既存機材等の適正な維持管理に努める。	令和4年度から 令和7年度まで		既存機材等の適正な維持管理に努める			
・浸水想定区域における防災拠点施設や排水施設の耐水性の確保・非常用電源の整備等	浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設の把握 把握した施設の非常用電源・耐水化の確認及び対策の実施								
		岩手県	・市町村の状況を把握し、必要に応じて支援を行う。	継続実施	拠点施設の浸水対策検討のためのデータ提供を実施。	市町村の状況を把握し、必要に応じて支援を行う。			
		宮古市	・対応施設を洗い出し、現状把握、対応の検討を行う。	継続実施	・対象施設の洗い出し、現状把握、対応の検討を行った ・庁舎非常用電源が浸水時も安定して稼働できるよう対策を行った	引き続き対応を検討し、BCPの強化を図る			
		大船渡市	・対応施設を洗い出し、現状把握、対応の検討を行い、対策を実施	令和7年度まで	—	—			
		久慈市	・該当施設については、対策の検討を行う。新設する施設については、対策を講じる。	継続実施	浸水想定区域内にある防災拠点施設等を把握した。	継続実施			
		陸前高田市	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設の把握と対策を実施する。	継続実施	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設及び対策状況の把握を実施した。	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設の把握と対策を実施する。			
		釜石市	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設を把握するとともに、非常用電源や耐水化の必要性を確認する。	令和7年度まで	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設を把握した。	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設を把握するとともに、対策の必要性を検討する。			
		住田町	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設の把握と対策を実施する。	継続実施	無	継続実施			
		大槌町	・有事の際の電源確保のため、各指定避難所への非常用発電機の配置と点検を実施。	継続実施	各指定避難所への非常用発電機の配置と定期的な点検の実施。	各指定避難所への非常用発電機の配置と定期的な点検の実施。			
		山田町	・実施を検討。	令和7年度まで	実施を検討	該当施設の状況把握及び対策の検討			
		岩泉町	・複合災害に備えた対策を町国土強靱化計画に位置付け計画的対策を実施	継続実施	診療所における訓練の実施	医療機関との事務打ち合わせの実施			
		田野畑村	・浸水想定区域内にある防災拠点施設等を把握し、対応の検討を行う。	継続実施	継続実施	継続実施			
		普代村	・災害後方支援拠点広場の整備事業を実施。	継続実施	継続実施	継続実施			
		野田村	・浸水想定区域内における該当施設の把握	継続実施	浸水区域ないの防災拠点施設等の把握を行った。	継続して実施予定			
		洋野町	・該当施設の状況把握に努め、有事の際の電力供給等	令和4年度から 令和7年度まで	避難施設の非常用電源供給体制の確認	避難施設の非常用電源供給体制の維持			